

# 第6学年 学級活動（1）指導案

平成30年10月30日（火） 第5校時

1 議題 「『卒業プロジェクト』を計画しよう」  
学級活動（1） ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 児童の実態と議題選定の理由

児童の実態については、研究協議会当日に配付する指導案に掲載します

最後の運動会や学芸発表会、修学旅行が終わり、残る行事も残りわずかとなった。卒業に向けての意識も少しずつ高まってくる時期である。本学級は年度初めに「得意なこと発表会」を行って友達のよいところを知り、「1年生と遊ぶ会」で他学年の児童との交流も行った。児童は自分達が力を合わせればできることの視野が広がりつつあると感じているようである。児童からは「卒業に向けて」の議題案がいくつか出ていたので、本議題では計画委員の児童を中心に、卒業に向けての活動を盛り込んだ「卒業プロジェクト」と称した計画を立てることとした。長期的に行うことで、卒業という一つの大きな節目に向けて全員で協力することができる。児童の意見をあらかじめ掲示しておくことで児童に考える時間をもたせ、自信をもって発言できるようにしたい。また、話し合いや活動では結果よりも過程に意識を向けさせ、一人一人の思いを認め合い、自信をもっていきいきと活動できる児童の育成を目指したい。

3 研究主題との関連

「小中一貫教育を通して、豊かな情操と主体的に学ぶ力を育み、自己肯定感の高揚を目指す教育の実践」  
～夢に向かって輝く千間台の子どもたちを目指して～

【千間台中ブロック】進路指導・キャリア教育で身につける力

	人間関係形成 社会形成能力 (つながる力)	自己理解 自己管理能力 (自分と向き合う力)	課題対応能力 (先を見通す力)	キャリアプランニング能力 (自分をつくる力)
小学校 高学年	①友達や家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止められる児童 ②相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えることができる児童 ③自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら周囲と力を合わせて行動できる児童	①自分の興味や関心、長所や短所などについて、把握しようとする児童 ②気持ちが沈んでいるときや、あまりやる気が起きない物事に対するときでもやるべきことに取り組める児童 ③不得意な事や苦手な事でも、前向きに取り組もうとすることができる児童	①分からないことや知りたいことがあるとき、自分から進んで情報を収集したり、誰かに質問したりできる児童 ②何か問題が起きたとき、次に同じような問題が起こらないようにするために、何をすればよいか考えられる児童 ③何かをするとき、見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりすることができる児童	①学ぶことや働くことの意義を考えたり、今学校で学んでいることと将来のつながりを考えたりできる児童 ②自分の将来について具体的な目標をたて、その実現のための方法について考えられる児童 ③自分の将来の夢に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりできる児童

研究主題の具現化を図るために、キャリア教育の視点をもとに仮説「発達段階に応じた身につけさせたい力を明確にし、各教科、領域において系統性のある教育活動を進めることで、児童の資質向上とキャリア発達を促すことができる。」を設定した。本議題では特に「人間関係形成・社会形成能力」の②「相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えることができる児童」と「課題対応能力」の③「何かをするとき、見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりすることができる児童」の育成を目指し、事前の活動や学級会を通して指導を行っていく。

本時では、次のように取り組む。

- (1) 自信をもって考えを伝えられるよう学級会ノートを使って事前に意見を出させ、教師の励ましの言葉を記入しておく。
- (2) 10月以降の行事が分かるように掲示物を作成したり、過去の6年生の様子を伝えたりしてイメージをもたせ、卒業までの見通しがもてるような環境づくりをする。

#### 4 他教科との関連

人間関係形成 社会形成能力 (つながる力)	自己理解 自己管理能力 (自分と向き合う力)	課題対応能力 (先を見通す力)	キャリアプランニング能力 (自分をつくる力)
学活「話し合い活動」(年間) クラブ・委員会活動(年間) 国語「つないで、つないで、一つのお話」(4月) 国語「学級討論会をしよう」(6月) 道徳「ブランコ乗りとピエロ」(12月) 道徳「ラグビーの日本代表のかがやき」(2月)	各種学校行事(年間) 道徳「自分は自分」(4月) 国語「伝えにくいことを伝える」(5月) 道徳「会話のゆくえ」(11月) 保健「病気の予防」(11月) 国語「カレーライス」(4月)	各種学校行事(年間) たてわり活動(年間) 学活「話し合い活動」 国語「学級討論会をしよう」(6月) 修学旅行(10月) 保健「病気の予防」(11月) 体育「サッカー」(11月) 体育「バスケットボール」(11月)	当番・係活動(年間) キッズランド集会(10月) 総合「人のため自分のため」(12月) 道徳「市民に愛される動物園を目指して」(12月) 国語「中学校へつなげよう」(3月) 学活「もうすぐ中学生」(3月)

#### 5 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
卒業に向けた活動について関心をもち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	卒業を見通してよりよい思い出をつくったり、絆を深めたりするために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

#### 6 事前の活動

日時	活動の主体	内容	・指導上の留意点	○目指す児童の姿と評価方法
10月23日 (火) 昼休み	計画委員	・提案カードをもとに、議題を選定する。	・各提案の扱いを明らかにし、提案者に伝えられるようにする。 ・今の学級の実態に合った議題かどうか考えさせる。	<b>【関心・意欲・態度】</b> ○よりよい学級づくりをするために、提案したり進んで議題を選ぼうとしたりしている。 〈提案カード・観察〉 <b>【知識・理解】</b> ○話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。 〈活動計画・学級会ノート・観察〉 <b>【思考・判断・実践】</b> ○提案理由や条件に合った意見や考えを学級会ノートに書いている。 〈学級会ノート・観察〉
10月23日 (火) 帰りの会	全員	・議題を決定する。	・今の学級の実態に合った議題かどうかを考えさせ、全員で議題を決定する。	
10月24日 (水) 業間休み 昼休み	計画委員	・提案理由や話し合い内容を練り上げる。 ・役割を分担する。 ・活動計画と学級会ノートをつくる。	・皆が納得できる提案理由になるよう提案者に指導助言を行う。 ・学級活動の時間内に話し合いが終わるように絞り込みを行わせる。 ・役割を確認させ、自信をもって仕事ができるようにする。 ・提案理由に沿ったためあてが考えられるよう助言する。	

10月25日 (木) 帰りの会	全員	・学級会ノートに自分の案を書く。	・提案理由等を説明させ、共通理解を図る。 ・提案理由や条件に合った意見をもつことができるように助言する。
10月26日 (金) 昼休み	計画委員	・全員の学級会ノートに目を通し、案をあらかじめまとめておく。	・事前にどのような案が出ているのか把握させ、話合いの見通しがもてるようにする。 ・出てきた案を学級、学校、その他に分類・整理し分かりやすく伝えることができるよう助言する。
10月27日 (土) 土曜参観朝の会	全員	・学級会ノートを受け取る。	・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、自分の案に自信をもたせ、話合いの意欲を高める。

## 7 本時の展開

### (1) 本時のねらい

自分の考えと友達の考えを比較しながら、めあてや提案理由を意識して、よりよい思い出をつくれたり絆を深められたりするような取組を考えることができるようにする。

### (2) 教師の指導計画

第11回学級活動 活動計画 平成30年10月30日(火) 第5時間目		
議題	『6-4卒業プロジェクト』を計画しよう	
提案理由	運動会や修学旅行、学芸発表会や学級会を通して、少しずつ団結してきました。しかし、みんなで協力できる行事もあと少ししかありません。そこで、『卒業プロジェクト』を計画して今卒業に向けてみんなでできることを探して行えば、思い出もできるし、絆も深まると思います。6年間お世話になった学校や家族にも感謝の気持ちが伝わるプロジェクトにしたなら、「自分もよくてみんなもよい」プロジェクトになると思い、提案しました。	
話合いのめあて	・卒業にむけてみんなの思い出がつかれるものや絆が深まるものを進んで発表しよう。	
決まっていること	・クラス、学校、その他の中から一つずつ選ぶ ・月に1つまでで行う	
話合いの順序	指導上の留意点	○目指す児童の姿と評価方法 ☆キャリア教育で身に付ける力
1 始めの言葉	・明るい雰囲気話し合えるように、元気よく始められるよう助言する。	
2 計画委員の紹介	・自信をもって堂々と発言できるように助言する。	
3 議題の確認	・提案者の思いや願いを理解させ、話合いの中心となるよう事前に指導する。	

4 提案理由の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まっていることは、理由をつけて発表できるように助言する。</li> </ul>	
5 めあてや決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3 議題の確認」から「めあてや決まっていることの確認」までで質問がないか確認させる。</li> <li>・提案理由の中のキーワードを押さえ、話合いの指針となるように意識付けを行う。</li> </ul>	
6 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案理由に沿った話合いとなるように、計画委員全体に助言する。</li> </ul>	
7 話合い  ①どんな事をするか (クラス・学校・その他)  ②いつやるか (クラス・学校・その他)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話合いの時間を確保するため、あらかじめ意見を出し合わせておき、すぐに「比べ合い」から始められるようにする。</li> <li>・提案理由を意識した意見や、建設的な意見がでたら称賛する。</li> <li>・話合いの方向が逸れたとき、自治的活動の範疇を超えそうなときは必要に応じて助言する。</li> <li>・少数意見であっても発言の機会を与え、一人一人の思いや願いも大切にして決められるよう助言する。</li> <li>・自信をもって堂々と発表できるよう、あらかじめ助言しておく。</li> </ul>	<p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <p>○提案理由を踏まえて、活動の目的に合った内容や活動時期について考えて発言している。 ☆課題対応能力③ (観察・学級会ノート)</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>○話合いの進め方や約束を理解している。 (観察・活動計画)</p> <p>○自分の考えが伝わるように工夫し、進んで発言している。 ☆人間関係形成・社会形成能力②</p>
8 決まったことの発表		
9 話合いの振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よかった点や課題について自己評価するとともに、友達のよかった点についても記入させる。</li> </ul>	
10 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案理由を意識した発言、学級全体を考えた建設的な意見、意欲的に参加していた児童を称賛するとともに、今後の課題を伝える。</li> <li>・計画委員へ労いの言葉を掛けるとともに、実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるように言葉がけをする。</li> </ul>	
11 終わりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちよく終わることができるように元気よく話せるようあらかじめ助言しておく。</li> </ul>	

8 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
10月31日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>決まったことを学級会コーナーに掲示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級会で決まったことの要点をまとめて書けるよう計画委員に助言する。</li> </ul>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他の児童と協力して自主的に準備や活動に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>〈観察〉</p>
11月以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスでの活動について話し合う。</li> <li>学校への活動について話し合う。</li> <li>その他の活動について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>決めた時期の中で、適切な日時を指定し、それに合わせて話し合いを行う。</li> <li>一連のプロジェクトに系統性をもって取り組めるようキーワードを提案理由に入れ、話し合いの指針とする。</li> </ul>	<p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動の目的を考え、友達と協力し責任をもって準備したり参加したりしている。</li> </ul> <p>〈観察・学級会ノート〉</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割を自覚し、提案理由に沿って楽しく活動できるようにする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの活動終了後、振り返りを学級会ノートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の態度を振り返り、今後の過ごし方に生かせるようにするとともに、友達のよいところについても認め、次回の活動への意欲につなげる。</li> </ul>	